資料５-２

駒込中学校の建替えに関する提言書（案）説明会

令和8年10月8日（木）

駒込中学校建替え等を考える会

※本資料においては、当団体を「考える会」と表記します。

本日の説明内容

01
整備計画について
…P2

02
「考える会」の
活動…P5

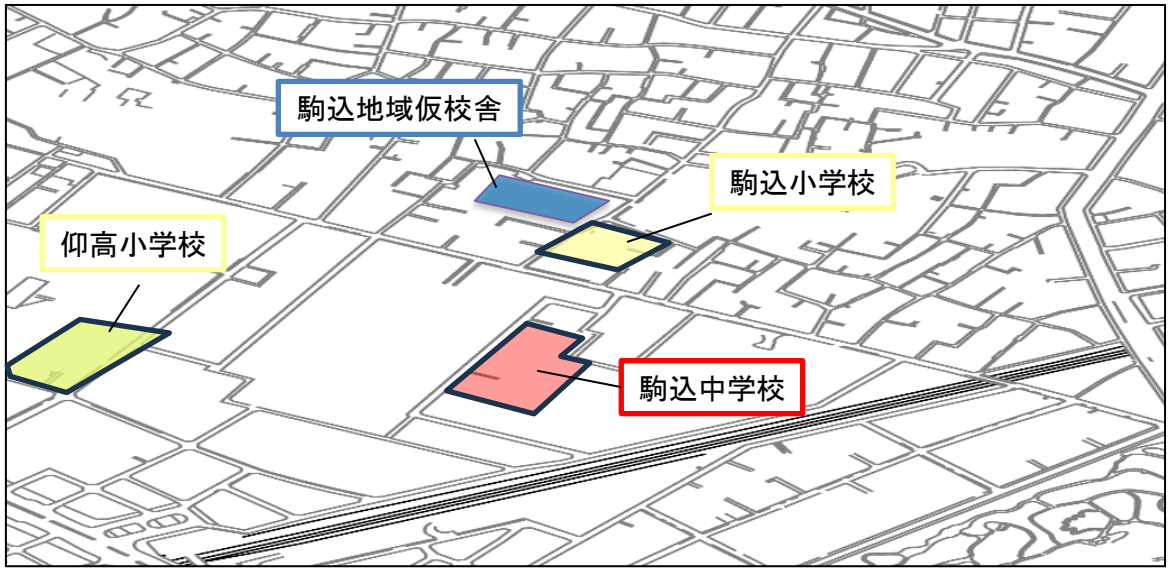
03
「提言書(案)」
の内容…P21

04
今後の
スケジュール…P33

1. 整備計画について

＜計画概要＞

駒込小学校隣地の民間集合住宅地（駒込6-2-16）を仮校舎地として借上げる20年の期間内に3校を改築する。



① 校舎の老朽化への対応

駒込中学校　築68年(S33)
駒込小学校　築63年(S38)
仰高小学校　築54年(S47)

② 児童・生徒の負担軽減

駒込中学校から改築を開始することで、駒込小学校・仰高小学校の児童が駒込中学校に通う際、できる限り新校舎で中学校生活を送ることができるようにする。

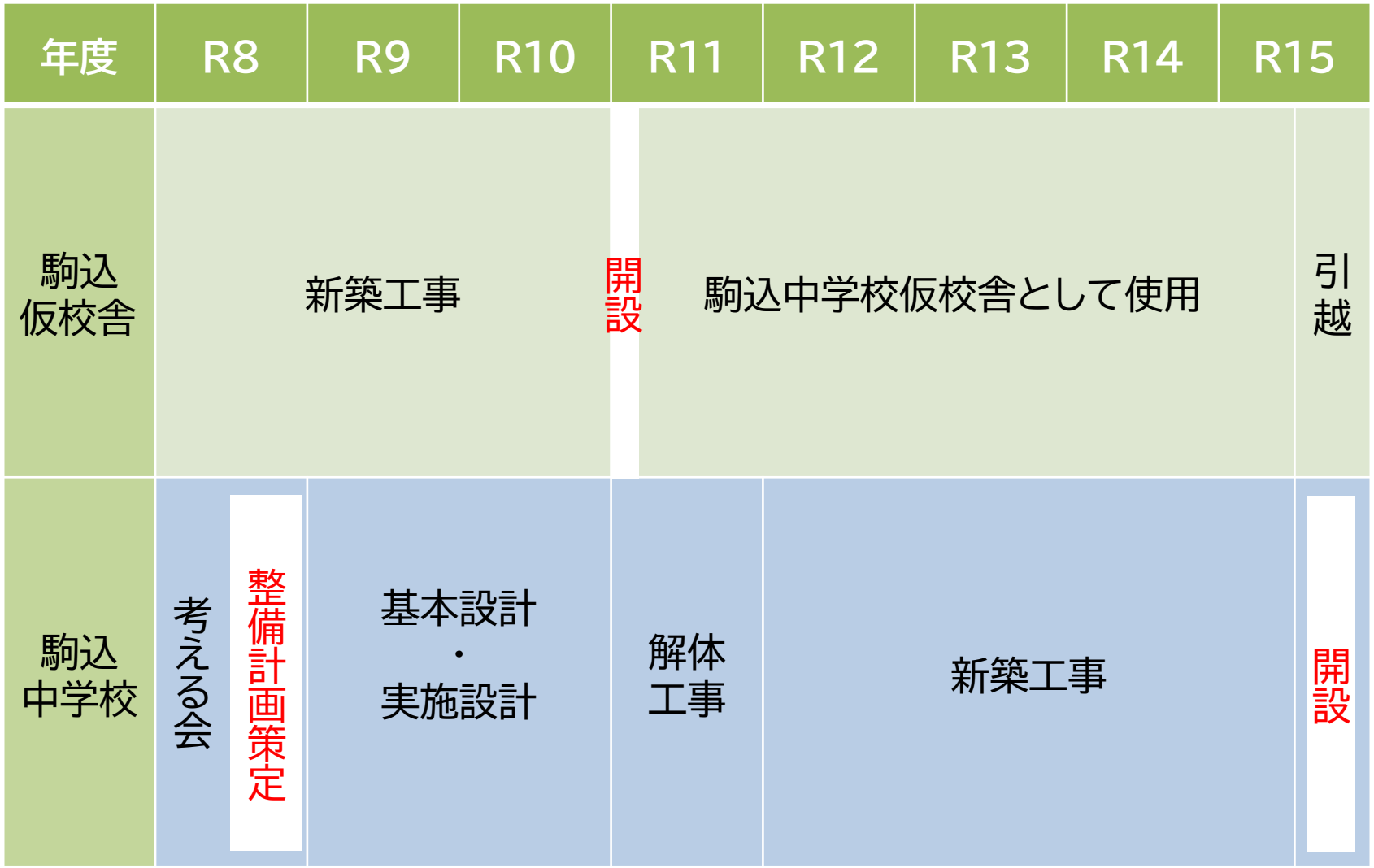
③ 改築校の順番

①と②を踏まえ、仮校舎と新校舎の開設時期を以下のとおりとする。

仮校舎　（令和11年度）
駒込中学校（令和15年度）
駒込小学校（令和20年度）
仰高小学校（令和25年度）

年度	R7～10	R11～15	R16～20	R21～25	R26	R27
内容	4年 現建物の解体 仮校舎の整備	約5年 開設 駒込中学校 開設	約5年 駒込小学校 開設	約5年 仰高小学校 開設	仮校舎解体	用地返還

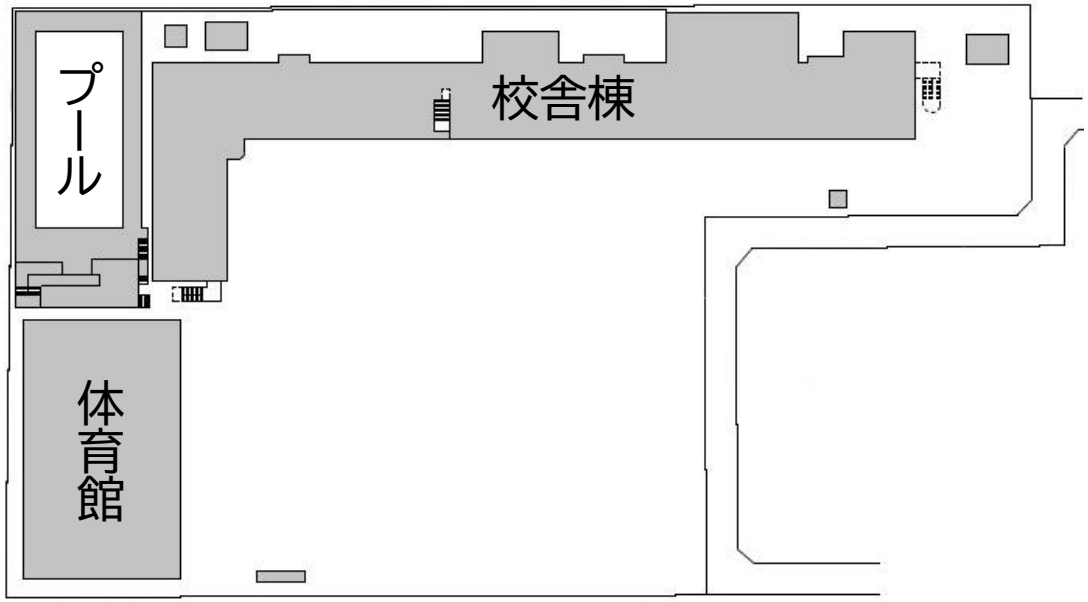
＜整備の流れ＞


年度
R8
R9
R10
R11
R12
R13
R14
R15
駒込
仮校舎
新築工事
開設
駒込中学校仮校舎として使用
引越
駒込
中学校
考える会
整備計画策定
基本設計
・
実施設計
解体
工事
新築工事
開設

＜駒込中学校の概要＞

■ **所在地**

豊島区駒込4-5-1



■ **校地面積**

7,741.62㎡(運動場 3,017㎡)

■ **延床面積**

5,192.35㎡

■ **構造**

校舎棟	RC造地上4階
体育館棟	鉄骨造2階

■ **建築年度**

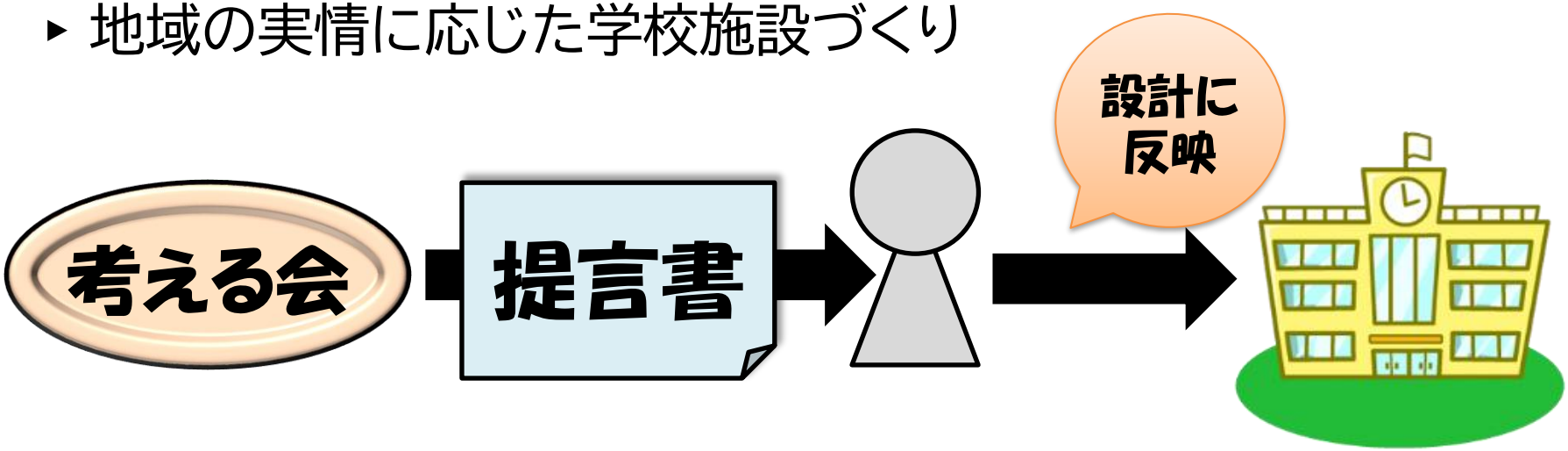
校舎棟	昭和33年度
体育館棟	昭和36年度

2. 考える会の活動について

＜考える会とは＞

施設整備の整備計画策定にあたり、学校や地域の代表、教育委員会などが協働して学校づくりを考えるための会議体

- 設立日　令和7年4月18日
- 目的
  - 教育内容・方法の多様化に応じた学校施設づくり
  - 地域の実情に応じた学校施設づくり



＜考える会の構成メンバー＞



＜これまでの考える会の活動概要＞

検討会（8回）

【学習・研究】
・勉強会
・先進事例視察

- 現状の把握
- 課題の整理

【調査・検討】
・アンケート
・グループワーク

- 基本方針及び配置の検討

地域説明会

建替えに関する提言書の策定

区長への提言

設計に反映

勉強会

日程：令和7年8月26日

講師：長澤 悟（ながさわ さとる） 氏
東洋大学名誉教授
教育環境研究所理事長



先進事例視察

日程：令和7年10月8日
場所：豊島区立巣鴨北中学校





日程：令和7年10月9日
場所：北区立田端中学校





アンケートの実施

- 調査期間　令和7年10月1日～11月10日
- 調査対象　駒込中学校(生徒・保護者・教員)
  周辺小学校(5,6年児童・保護者)、未就学児保護者、地域(町会)

(1)現在の学校でよいと思うところ ※複数回答3つまで

調査対象	1位	2位	3位
駒込中生徒(153名)	普通教室(58件)	トイレ(52件)	校庭、体育館(37件)
駒込中教員(16名)	トイレ(10件)	さくらルーム(6件)	図書室(4件)
保護者・地域(163名)	生徒・教員(24件)	立地(20件)	教育環境(16件)

(2)現在の学校で変えてほしいところ ※複数回答3つまで

調査対象	1位	2位	3位
駒込中生徒(153名)	体育館(65件)	校庭(58件)	普通教室(53件)
駒込中教員(16名)	普通教室(8件)	体育館(7件)	職員室・校長室(4件)
保護者・地域(163名)	校庭(45件)	校舎(17件)	体育館(11件)

アンケートの実施

（3）新しい学校で充実させたいもの/自分の学校にほしいもの（周辺小学校5,6年生）
※複数回答3つまで

調査対象	1位	2位	3位
駒込中生徒（153名）	学習面（114件）	学校生活（83件）	ユニバーサルデザイン（47件）
駒込中教員（16名）	学習面（12件）	安全面（10件）	ユニバーサルデザイン（10件）
保護者・地域（163名）	安全面（71件）	学習面（60件）	地域と学校の連携面（47件）
周辺小学生（254名）	広い校庭（77件）	体育館（59件）	談話・交流スペース（34件）
未就学児保護者（70名）	安全面（65件）	学習面（59件）	自然環境面（33件）

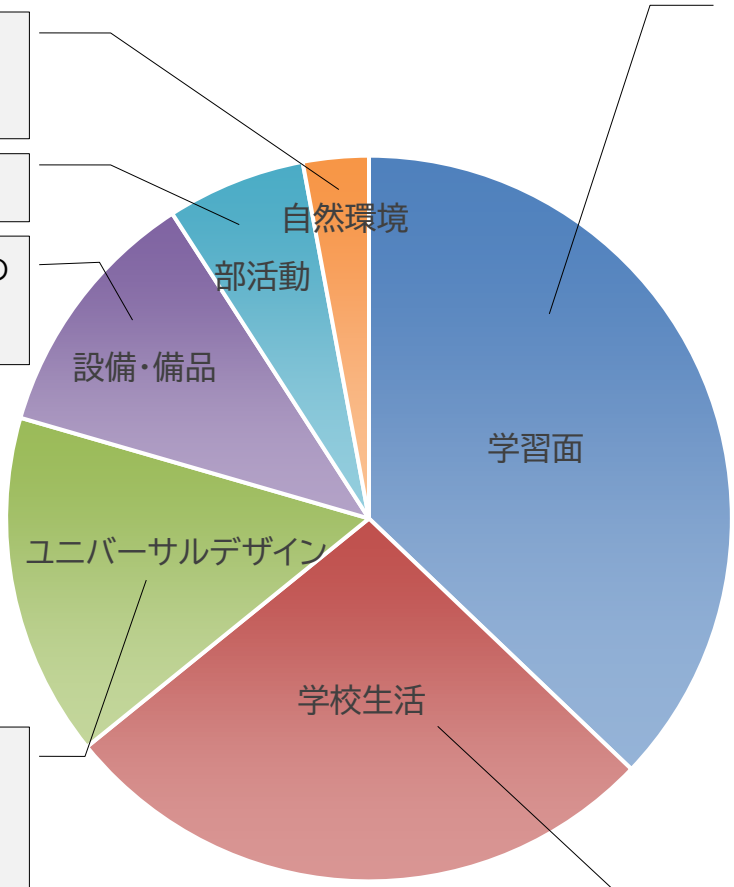
アンケート意見（抜粋） －駒込中学校生徒－

Q. 新しい学校で充実させたいものはなんですか？

- 桜は学校のシンボルとして必要だと思う。
- 花壇や緑が味わえる場所は心地良いし、学校の雰囲気が良くなる。

- それぞれの部活の更衣室や部室がほしい。

- 夏になると暑すぎて冷水が出なくなる。夏の部活の際にも便利なので、冷水器がもっとほしい。



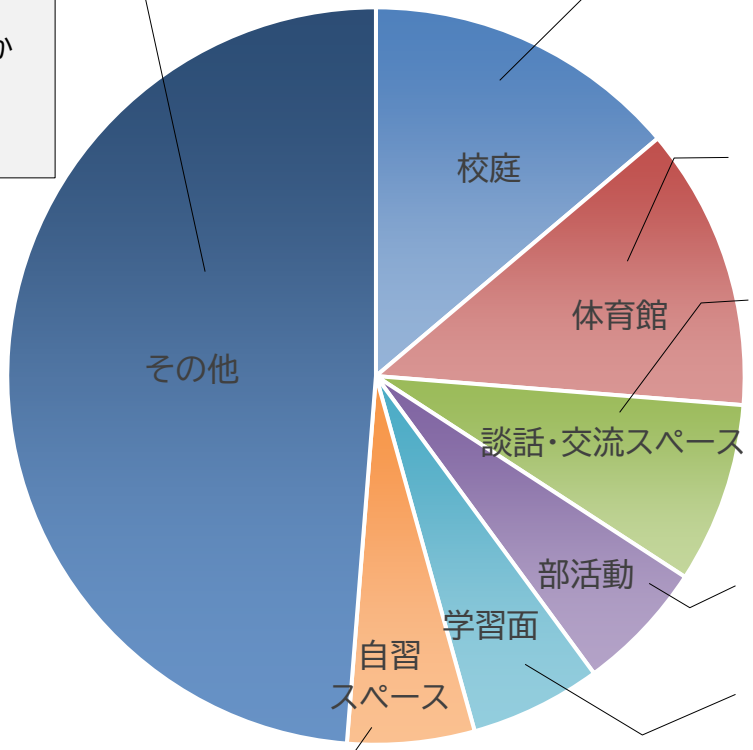
- 重い楽器などを運ぶのが大変だし、体調を崩したりケガをしたときに保健室に行くのにも便利なので、エレベータやエスカレーターがほしい。

- 今の教室は古くて狭い。
- 静かな環境で集中して勉強ができる場所がほしい。
- 今の音楽室は部活の人数に対して狭いので、広い音楽室がほしい。
- 複数の部活が使ったり、もっと自由に色々運動がきるよう、広くて天井の高い体育がほしい。
- 年間を通していつでも使えるし、日焼けをしないので室内プールがほしい。
- 汚れないし走りやすく転んでも痛くないので、校庭はゴム素材などがよい。

- みんなとおしゃべりしながら楽しく昼食を食べたいのでランチルームがほしい。
- 用事がないと休み時間にほかの学年の階に行かないが、もっと交流の機会を増やすため、各階に「集まれる場所」がほしい。
- 放課後の作業などもしやすくなるので、「集まる場所」がいくつかあると便利だと思う。
- 校庭を広げるのは敷地的に無理な気がするから、屋上に運動できる場所ができるとよい。

アンケート意見（抜粋） －周辺小学校児童（5・6年生）－

Q. 自分が通う中学校に欲しいものはなんですか？



- （ランチルーム）他クラスや他学年の人とご飯が食べたい。
- （広い図書館）本が好きだから
- （ビオトープ）自然に触れる機会が増えるから。
- （休憩スペース）一人でゆっくりしたい。
- プログラミングを勉強したい。

- いっぱい遊びたい。
- 運動や部活動を頑張りたい。

- 雨でも運動をしたい。
- 部活を頑張りたいから。

- 教室以外でも友達と話したい。
- 他学年と交流したい。

- 部活を増やすことによって、選択性が増え、好きなものを選べるようになるから。

- 静かに勉強したいときに個室の部屋があると良い。

- 勉強に集中できて、はかどりそう。
- 大人数が苦手だから。

アンケート意見（抜粋） －保護者、地域住民等－

≪保護者、地域住民≫
- 学習も部活動も充実した環境になると良い。指導者も充実してほしい。
- 昨今、犯罪が多発して不審者も多いので、安全・安心は重要だ。セキュリティを強化してほしい。
- 桜がシンボルであることが感じられるようにしてほしい。

≪駒込中学校教員≫
- 学校はデザイン優先で考えると使いづらくなる。おしゃれさではなく、まず学習の機能を果たすことを考えてほしい。
- 大人目線ではなく、子どもの生活動線を理解してデザインしてほしい。

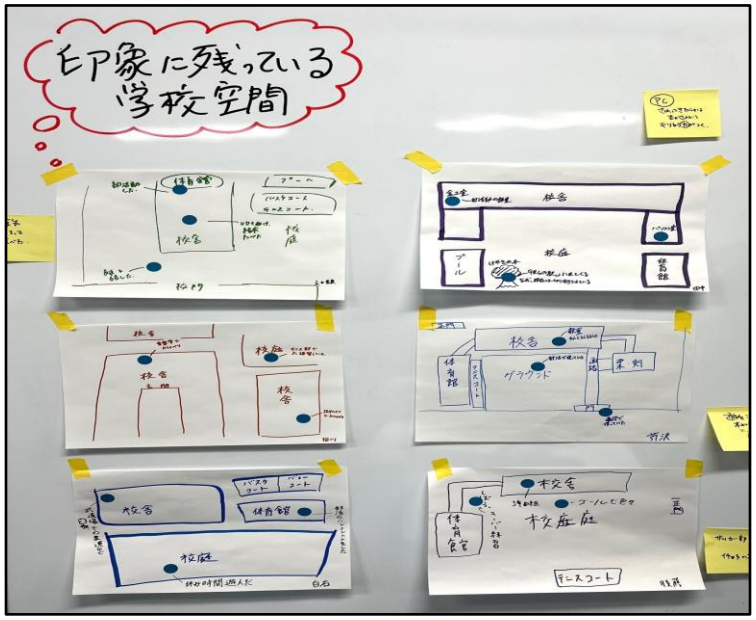
≪未就学児童保護者≫
- AIなどの親世代があまり経験や知見がない領域を教えてもらえる環境があるとよい。
- 都市を超えて交流し、いい仲間に出会い、ともに学んでいくことのできる学校になってほしい。

大学生インタビューの実施

実施日：令和8年 1月19日(月)
対　象：大正大学(地域創生学部公共政策学科)の学生　20名



大正大学でのグループインタビューの様子



■ ヒアリング項目

① 中学時代で印象に残っている空間(好きだった、よく過ごした場所)
② 中学時代の経験で今に活かされていると思うこと
③ 中学生に戻れたらこんな学校で過ごしたいと思うこと

大学生インタビューの実施

① 中学時代で印象に残っている空間

- おしゃべりをしたり遊んだりした教室、中庭、音楽室、保健室など、友人と時間を過ごした場所が印象に残っている。
- 連絡通路、校舎の入口、正門・裏門など多くの生徒が行き来する場所が印象にあり、行きかう人を見ているのも好きだった。

② 中学時代の経験で今に生かされていると思うこと

- 早い段階からパソコンに触れる機会があって、基礎的な力が培われたことは今にも生かされている。

③ 中学校にあったら良いと思う空間や設備

- 生徒の「これをやりたい！」という思いを叶えられるような場所・空間があると良い。
- 地域の人があまり多く出入りすると、思春期の生徒の中には不安定になってしまう人もいるかもしれないため、地域に開放する空間は職員室の近くなど、人の目が届く場所が良いと思う。
- 学校のシンボルになるような樹木があると良い。

考える会 第1回グループワーク

<テーマ>

現在の駒込中学校の
「良いところ・残したいところ」、「改善したいところ」を出し合おう

<良いところ・残したいところ>（抜粋）

- 桜の木、樹齢が長い樹木
- 和室
- 地域連携
- 歴史や伝統、卒業生の偉業　など

<改善したいところ>（抜粋）

- 校庭・体育館の広さや仕様
- プールの配置
- オープンスペースや居場所
- バリアフリー化　など



考える会 第2回グループワーク

＜テーマ＞

建替えに際して「大切にしたいこと」、「重視したいこと」を考えよう

＜重視（大切に）したいこと＞（抜粋）

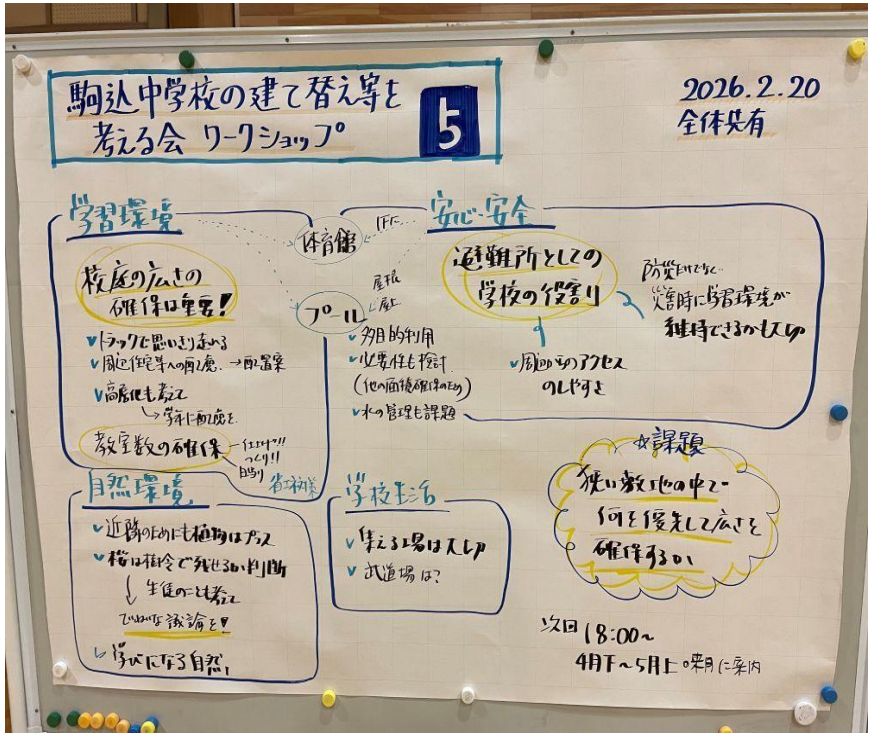
＜学習環境＞
- 生徒数増減に対応できるような工夫
- 校庭、体育館の広さ

＜学校生活＞
- 自由に使用できるオープンスペース
- 歴史や伝統

＜自然環境＞
- シンボルとなる樹木や花壇

＜安全・安心＞
- 災害時の避難場所

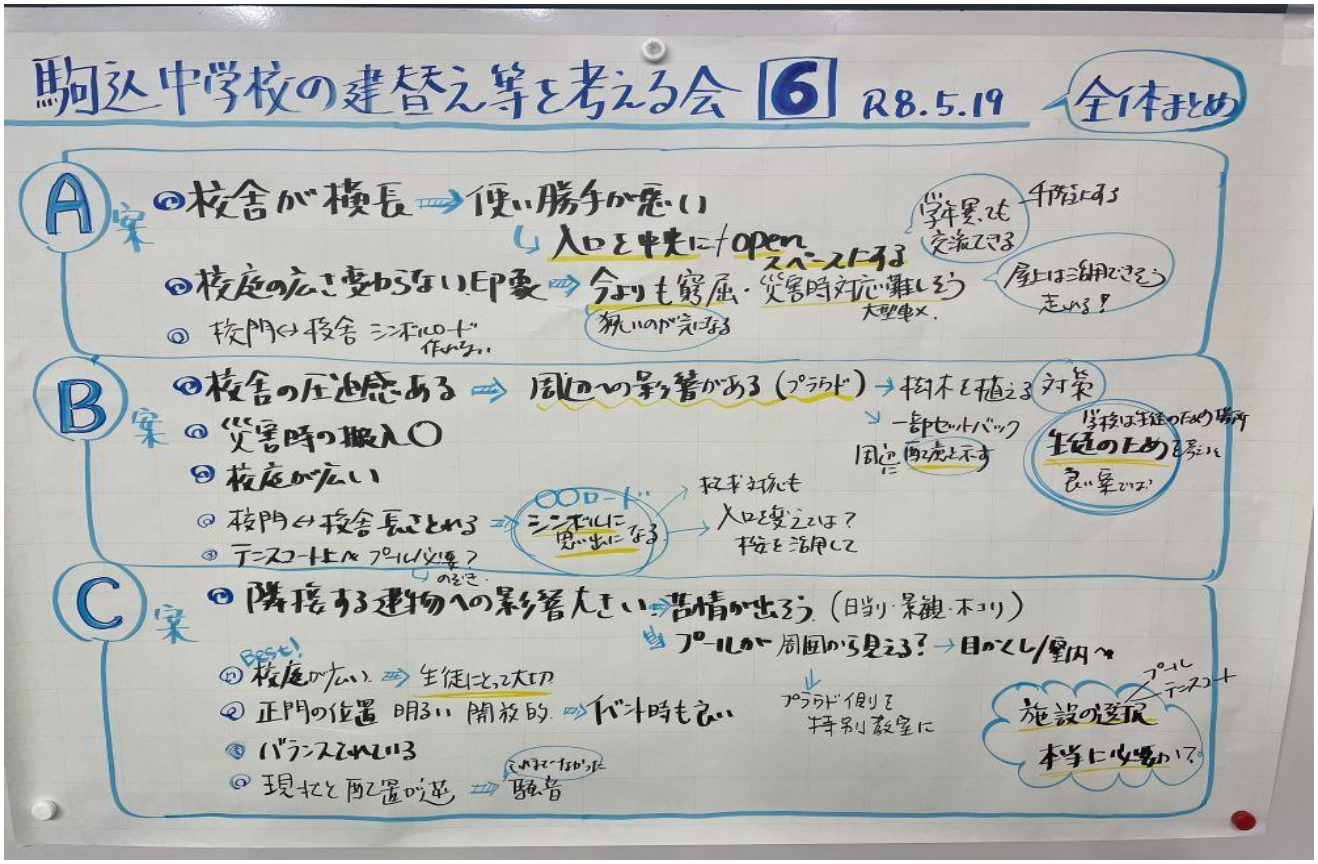
など



考える会 第3回グループワーク

<テーマ>

学校の配置案の検討と導入機能をイメージしよう



考える会 第4回グループワーク

<テーマ>

提言書案を確認しよう ～コンセプトたたき台、基本方針案について～

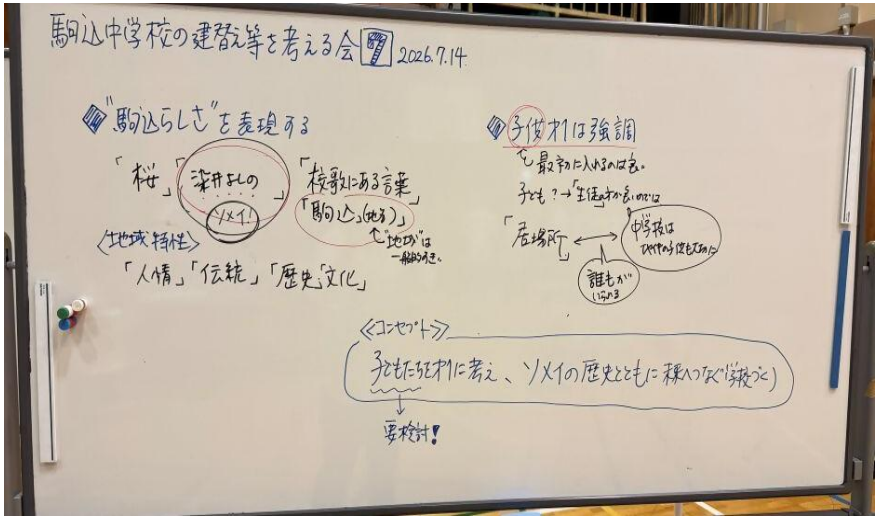
＜委員からの意見＞（抜粋）

＜「子どもたち第一」を強調＞
- 何よりも子どものためになる学校づくりを考えたい。

＜「駒込中学校らしさ」を表現＞
- 「桜」や「ソメイヨシノ」という表現を入れたらどうか。

＜地域特性＞
- 駒込中学校の伝統や歴史を表現したい。
- 自然（桜など）を大切にする地域性を盛り込んだらどうか。

など



＜考える会ニュース・区ホームページによる活動報告＞



駒込中学校の建替え等を考える会 ニュース

第1号（令和7年7月）

編集・発行：駒込中学校の建替え等を考える会

駒込中学校の建替え等を考える会が設立されました！

駒込中学校は昭和27年(1952年)に開校され、増築、耐震補強等をしながら現在に至っています。このたび、令和6年度に駒込小学校隣地(旧駒込フラット)を20年間の定期借地契約で仮校舎用地をとして確保することができたため、駒込中学校、駒込小学校、仰高小学校の改築を順次行うことになりました。なお、仮校舎は、3校改築後解体し更地返還します。

いよいよ駒込中学校の建替えに向けて活動が始まります。令和7年度4月に学校、保護者、地域、区、及び教育委員会との協働による学校づくりの場である「駒込中学校の建替え等を考える会」(以下、考える会)が設立されました。今後、この考える会で、改築基本構想・基本検討案にベースとなる、「提言書」づくりを進めていきます。

会長あいさつ

この度、「駒込中学校の建替え等を考える会」の会長を務めさせて頂きます、小川文幸と申します。

私は駒込小学校、駒込中学校の卒業生で、生まれも育ちも駒込。現在は駒込中学校PTA会長として駒込中学校に携わっていますが、子ども達からも、地域の方々からも愛される学校づくりが必要だと考えております。

考える会において、関係者の皆さまのご意見をいただきながら、議論を積み重ねて、新しい駒込中学校づくりを進めていければと思っております。

どうぞ引き続き未来の駒込中学校のためにご協力の程宜しくお願い致します。

第1回考える会のようす

改築のスケジュール(予定)

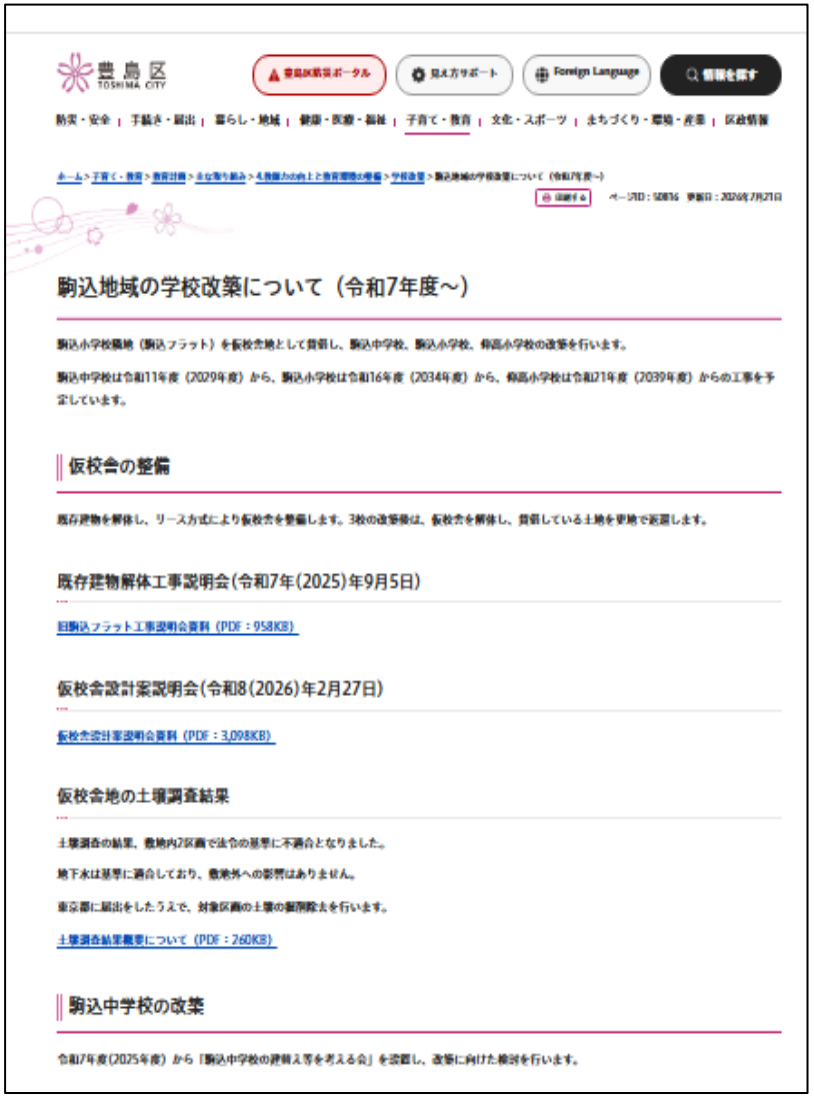
令和7年4月(2025)	考える会設立
令和8年11月(2026)	提言書を豊島区へ提出
令和9～10年度(2027～2028)	基本設計・実施設計
令和11年度～(2029)	解体、改築工事(仮校舎　旧駒込フラット)
令和15年度～(2033)	新校舎竣工

考える会　スケジュール(予定)　令和7年度～8年度の主なスケジュール

4月：考える会設立
6月(23日)：第2回考える会
8～10月：勉強会の実施／先進事例視察
10月～令和8年夏頃：グループワークやアンケート等を通じ子ども達や地域住民の意見集約／施設計画の検討／建物配置の検討／アンケート調査
秋頃：地域説明会の実施／地域の意見を提言書に反映／基本構想案とりまとめ
11月：提言書を区へ提出

ニュース等で周知(4回程度)

【考える会ニュース】



豊島区 TOSHIMA CITY

防災・安全 | 子育て・届出 | 暮らし・地域 | 健康・医療・福祉 | 子育て・教育 | 文化・スポーツ | まちづくり・環境・産業 | 区政情報

ホーム > 子育て・教育 > 教育計画 > 主な取り組み > 4.教職力の向上と教育環境の整備 > 学校改革 > 駒込地域の学校改築について（令和7年度～）

駒込地域の学校改築について（令和7年度～）

駒込小学校隣地（駒込フラット）を仮校舎地として賃借し、駒込中学校、駒込小学校、仰高小学校の改築を行います。

駒込中学校は令和11年度（2029年度）から、駒込小学校は令和16年度（2034年度）から、仰高小学校は令和21年度（2039年度）からの工事を予定しています。

仮校舎の整備

既存建物を解体し、リース方式により仮校舎を整備します。3校の改築後は、仮校舎を解体し、賃借している土地を更地で返還します。

既存建物解体工事説明会(令和7年(2025)年9月5日)

旧駒込フラット工事説明会資料（PDF：958KB）

仮校舎設計案説明会(令和8(2026)年2月27日)

仮校舎設計案説明会資料（PDF：3,098KB）

仮校舎地の土壌調査結果

土壌調査の結果、敷地内7区画で法令の基準に不適合となりました。

地下水は基準に適合しており、敷地外への影響はありません。

東京都に届出をしたうえで、対象区画の土壌の盛土除去を行います。

土壌調査結果概要について（PDF：260KB）

駒込中学校の改築

令和7年度(2025年度)から「駒込中学校の建替え等を考える会」を設置し、改築に向けた検討を行います。

【区ホームページ】

3.「提言書(案)」の内容

＜提言書の主な構成＞

コンセプト

提言書の中で1番大切にしたいこと(地域の想い)を言葉で表したもの

考える会やアンケート等で集約した**地域及び子どもたち・教員などの想い**を言葉にします。

基本方針

「こんな学校にしたい」という基本的な考え方

コンセプトをより具体的に表現するために、子どもたちや地域などの目線、求める機能など「こんな施設にしたい」という想いをまとめます。

整備方針

「こんな風につくりたい」という場所ごとの具体的な提案

コンセプトや基本方針を踏まえて、普通教室や特別教室等の整備方針をまとめます。

施設配置

学校の配置に関する考え方の提案

整備地の条件・特性などから敷地を有効活用できる案を提案します。

＜コンセプト＞

学校づくりの中心を
“子どもたちの「学び」と「成長」を幹に”と表現

**子どもたちの「学び」と「成長」を幹に、
「ソメイの歴史」とともに未来へつなげる学校づくり**

地域の歴史や文化、桜などの大切な地域資源、
地域住民とのつながりを“ソメイの歴史”と表現

将来への対応と次世代への継承
という考え方を“未来へつなぐ”と表現

＜基本方針＞

方針1 子どもたちの学びと成長を第一に考える学校

子どもたち一人ひとりの学びや成長を最優先に考え、安心して学び、挑戦し、多様な人との関わりの中で自ら考え行動できる力を育む学校にしたい

(1)学び

多様な学習活動に対応できる、質の高い学習環境を整える。

(2)居場所

教室だけでなく、一人でも友だちとでも、安心して過ごせる多様な居場所を確保する。

(3)多様性

一人ひとりの個性や特性、多様な背景を尊重し、誰もが安心して学べる学校を目指す。

(4)自主性

子どもたちが主体的に学び、考え、行動できる環境を整える。

＜基本方針＞

方針2 安全・安心で誰もが過ごしやすい学校

子どもたちが毎日安心して学び、生活できる学校を目指し、安全・安心な教育環境を確保するとともに、学校を利用する誰もが快適に過ごせる学校にしたい。

(1)防災

災害時に子どもたちの安全を確保するとともに、地域の避難所（救援センターを含む）としての機能を備えた学校を目指す。

(2)防犯

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、防犯性と見守りに配慮した学校環境を整備する。

(3)ユニバーサルデザイン

子どもたちをはじめ、学校を利用する誰もが安心して利用できる学校施設を目指す。

(4)健康・快適性

明るさや通風、温熱環境、衛生環境などに配慮し、子どもたちが心身ともに健康で快適に過ごせる学校環境を整える。

＜基本方針＞

方針3　地域と共存し、地域とともに歩む学校

地域とともに歩み、学校と地域が互いに支え合う関係を築くとともに、周辺環境や近隣住民への配慮を大切にし、地域に親しまれ、愛される学校にしたい。

(1)地域利用

学校施設を地域に開かれた空間として活用し、多世代が利用しやすい環境を整える。

(2)地域交流

学校と地域との交流を深め、地域の人々との関わりを通して子どもたちの学びや成長につなげる。

(3)近隣への配慮

学校運営や施設整備にあたっては、周辺住民の生活環境との調和に配慮し、住宅地に立地する学校として共存できる環境づくりを進める。

(4)学校への愛着と誇り

地域に親しまれ、子どもたちや卒業生、地域住民が愛着と誇りを持てる学校づくりを進める。

＜基本方針＞

方針4　駒込中学校らしさを未来へ受け継ぐ学校

駒込中学校がこれまで育んできた歴史や地域とのつながりを大切にし、桜（ソメイヨシノ）や緑など地域の資源を未来へ受け継ぎながら、子どもたちが学校や地域に愛着と誇りを持てる学校にしたい。

（1）ソメイヨシノ
地域や学校のシンボルである桜を大切にし、学校の歴史や思い出を未来へつなぐ。

（2）歴史
駒込中学校の歴史や伝統を継承し、地域とともに歩んできた学校の歩みを未来へ受け継ぐ。

（3）緑
緑豊かな環境を保全・創出し、自然に親しみながら学べる学校づくりを進める。

（4）思い出
子どもたちや卒業生、地域の人々が愛着を持ち、思い出を積み重ねられる学校づくりを進める。

（5）地域資源
学校だけで完結するのではなく、地域の文化や自然、人材などの資源を教育活動に生かし、地域と共に学ぶ学校を目指す。

＜基本方針＞

方針5 将来の変化に対応できる持続可能な学校

教育内容や社会環境の変化に柔軟に対応するとともに、環境負荷の低減や長期的な視点に立った学校づくりを進め、将来にわたり安心して利用できる持続可能な学校にしたい。

(1)ICT

ICTを効果的に活用し、多様な学び方や新しい教育内容に対応できる学習環境を整備する。

(2)多目的利用

教育活動だけでなく、地域利用や災害時利用など、多様な用途に柔軟に対応できる施設・空間づくりを進める。

(3)教育の変化への対応

教育内容や学び方の変化に対応し、子どもたちの主体的な学びを支える学校づくりを進める。

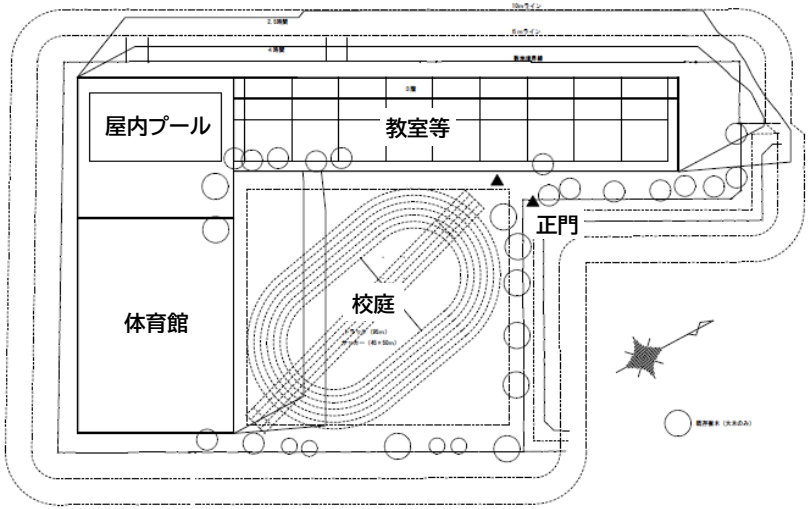
(4)環境

省エネルギーや環境負荷の低減に配慮し、自然と共生する持続可能な学校づくりを進める。

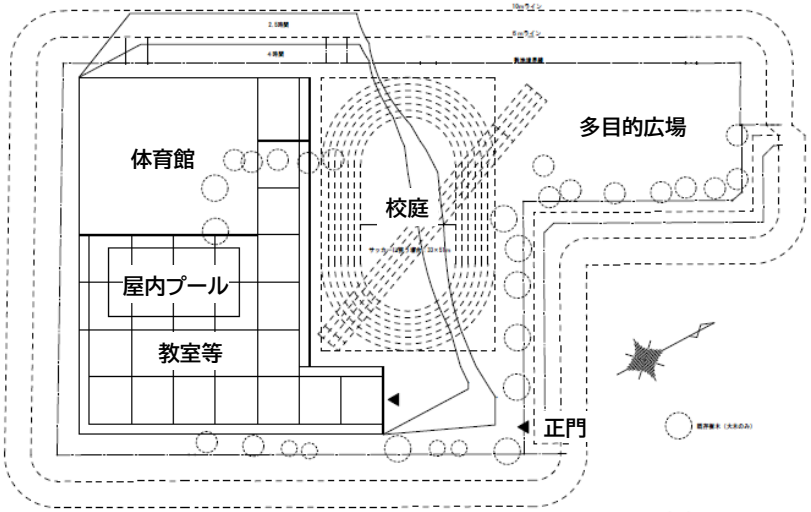
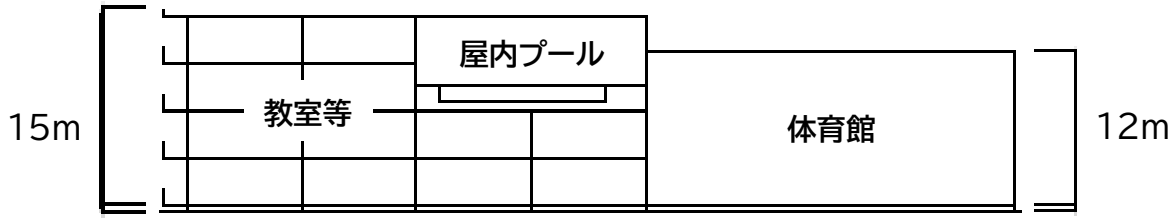
＜整備方針＞

- 学校全体
- 地域開放施設
- 教室
- 屋外（校庭など）
- 諸室・共用部
- 防災・災害時・避難所機能
- 体育館施設等
- 環境への配慮・環境学習

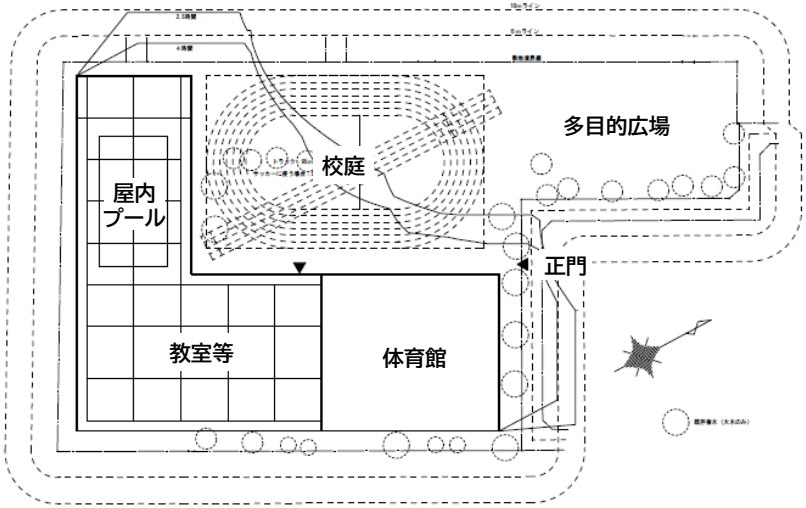
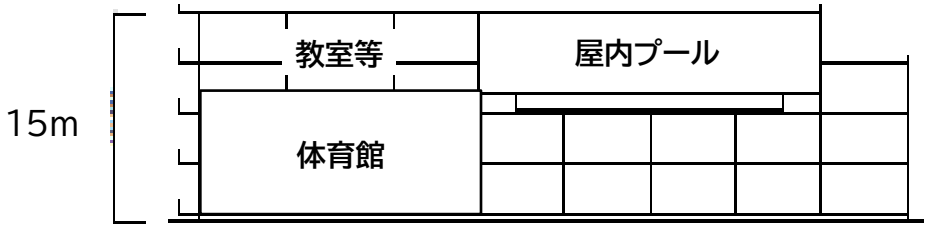
＜施設配置＞ A案

平面図	
立面図	
特　色	● 現況に最も近い案 ● 北側に4階建の校舎を設置(一部3階建て) ● 南側に体育館とプールを設置 ● 動線が長い

＜施設配置＞ B案

平面図	
立面図	
特　色	● 校舎を南側に配置する案 ● 建物がコンパクトになり、動線が短い ● 既存の桜を残すことができる ● 校庭と多目的広場を一体的に利用可能 ● 体育館を南西側に配置 ● プールは校舎上部に配置 ● 道路から校舎の間に前庭を配置

＜施設配置＞ C案

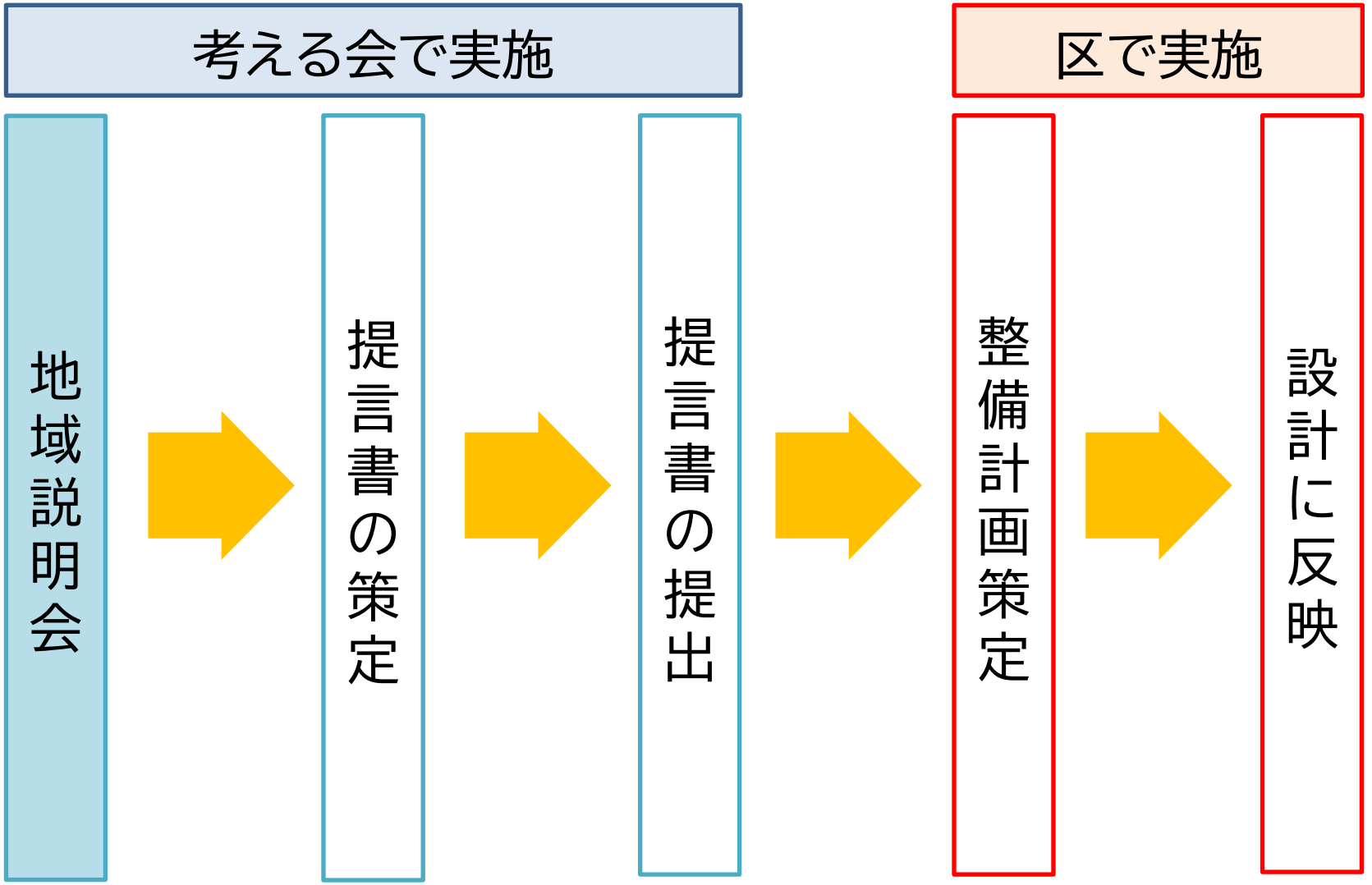
平面図	
立面図	
特　色	● 校舎を南から東側に配置する案 ● 体育館への外部からのアクセスがよい ● 校庭と多目的広場を一体的に利用可能 ● 体育館を東側に配置 ● プールは校舎上部に配置

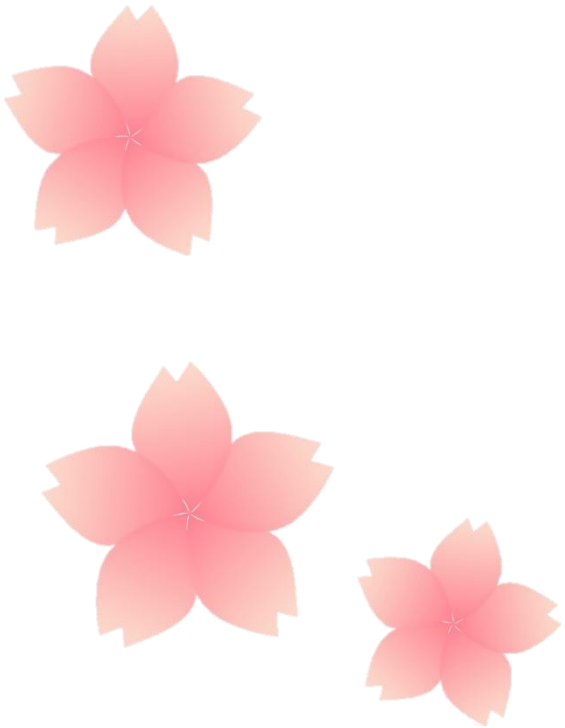
※ A,B,C案は、いずれも考える会で検討した案であり、
実際の施設配置については、今後設計を行う中で決定します。

＜配置案意見＞

案	良いと思うこと	課題と思うこと
A案	●屋上が広くて有効活用ができるのではないか。	●校舎が長く、移動が大変。 ●校庭が窮屈に感じる。 ●トラック走路の長さが短い。
B案	●災害時など正門から大型車が進入しやすい。	●近隣住戸に近接している。 ●正門から校舎に行くのに校庭を横切る必要があり、部活中は危険。 ●トラック走路の長さが短い。
C案	●校庭が広い。 ●校舎等の配置のバランスが取れている。 ●正門から校庭を横切らずに校舎へたどり着ける。	●近隣住戸に近接している。
共通		●プールの外部化についても検討してほしい。

4. 今後のスケジュール





ご清聴ありがとうございました。